

市議会全員協議会（報告事項）



養老線運営支援事業
～養老線交通圏地域公共交通計画（案）について～

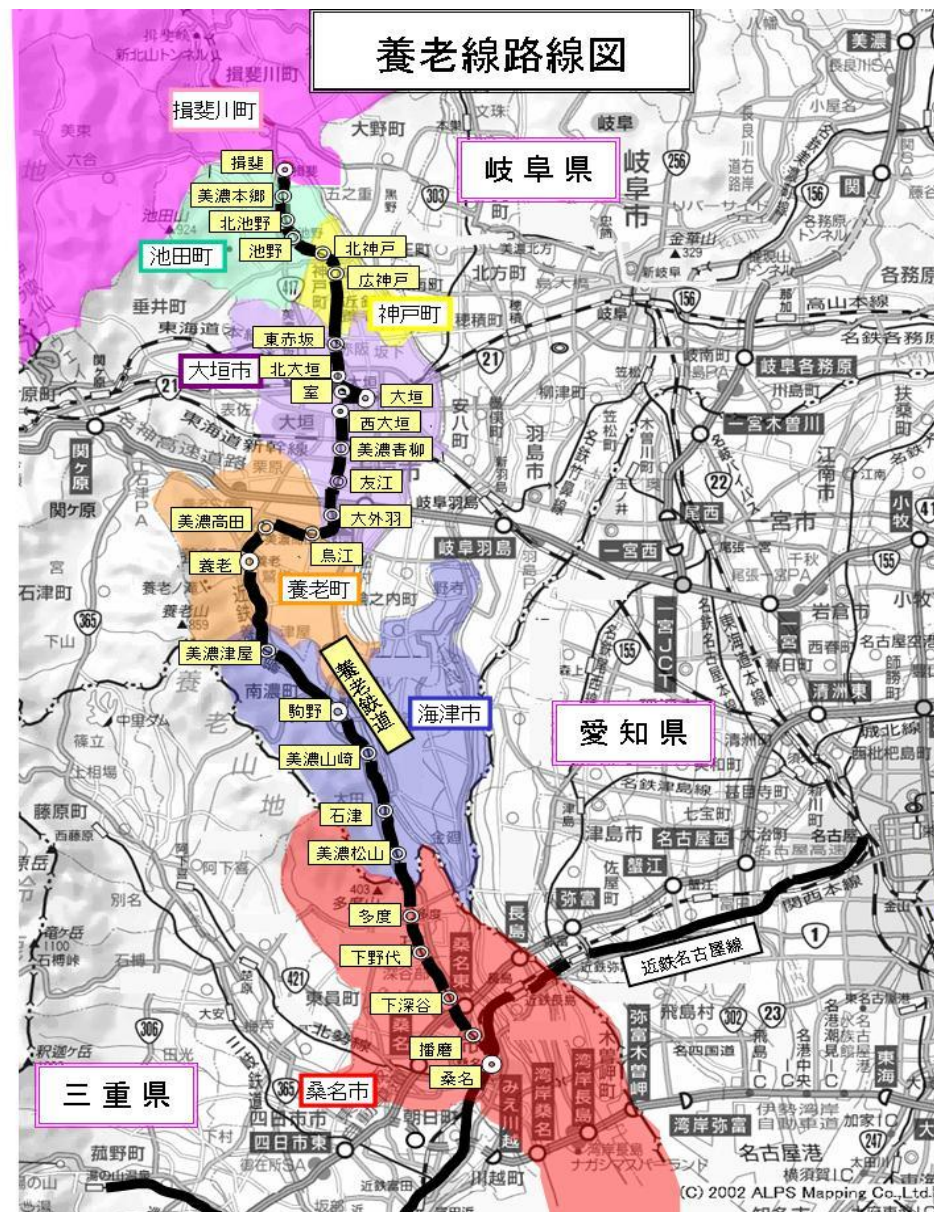
1. 養老線の概要
2. 計画の全体像
3. 現計画10年間の取り組み
4. 養老線交通圏地域公共交通計画（案）
5. 整備スケジュール（予定）

1. 養老線の概要

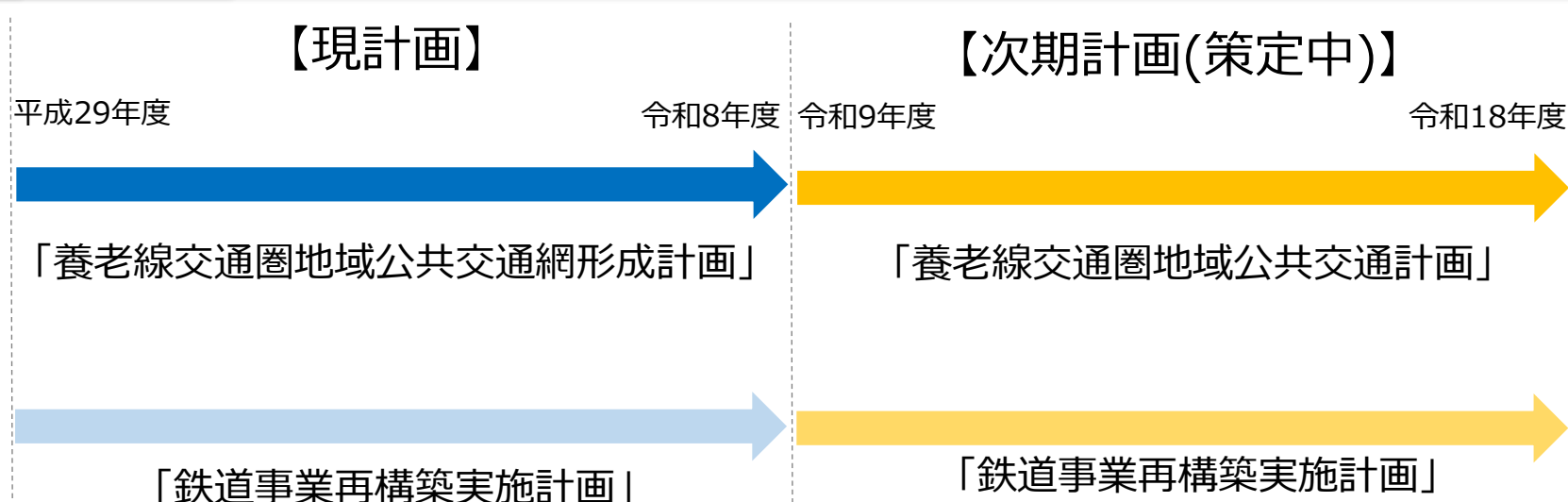
- 平成19年
養老鉄道(株)が第二種鉄道事業者として運営開始
(近鉄は第三種鉄道事業者として施設・車両を保有)
- 平成29年
「一般社団法人養老線管理機構」(沿線7市町で構成)を
第三種鉄道事業者として設立
近鉄が養老線支援基金として10億円を寄付
- 平成30年 上下分離方式で運行開始
沿線市町は養老線管理機構の一員として
運営費用を拠出(平成30年～)

【養老線の概要】

区間	桑名駅～揖斐駅
営業キロ・駅数	57.5km 27駅
沿線自治体	(岐阜県) 大垣市、海津市、養老町、 神戸町、池田町、揖斐川町
	(三重県) 桑名市

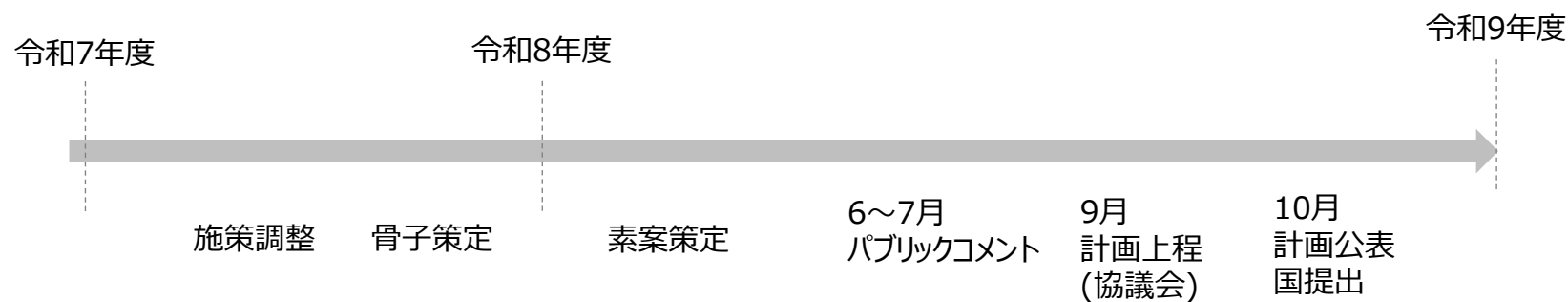


2. 計画の全体像



・それぞれの交通計画に連動する形で、鉄道事業再構築実施計画を策定

【次期計画 策定スケジュール予定】



3. 現計画10年間の取り組み

鉄道施設の老朽化

- 養老線は全線開業(1919年)から107年を迎え、**線路や駅舎を始めとした鉄道施設の老朽化**が進んでいる
- **車両についても老朽化が著しく**、今後の維持管理や安全運行に支障をきたす恐れがあるため、**計画的な更新が必要な状況**



駅ホーム下(劣化)



木製電柱(劣化)



枕木(劣化)



車両上部(アンテナ腐食)

対策状況

- ・平成29年度から実施中の現計画では、安全・安定輸送に必要な維持修繕及び中古車両の導入などの事業を堅実に施工
- ・令和5年度から社会資本整備総合交付金を活用することが可能になったことから、整備更新を集中的に実施
(枕木、遮断機、コンクリート柱、ホーム改良等)



駅ホーム上(施工後)



PC枕木化(施工後)



更新した車両(旧東急車両)

- ・車両については全体の半数を中古車両に更新済み

4. 養老線交通圏地域公共交通計画（案）

現在、次期10年間の「養老線交通圏地域公共交通計画」（令和9年度～令和18年度）を策定中

将来像 「人をむすび、まちをつなぎ、地域の未来を創る養老線を軸とした 地域公共交通ネットワークの再構築」

- 方針Ⅰ 養老線を安心して便利に利用できる
地域公共交通の基幹軸へアップグレード

車両更新、ダイヤ改善、増便、交通系ICカード等の導入など

- 方針Ⅱ まちづくりと連携した養老線駅周辺の
環境整備やにぎわい拠点づくりを推進

駅舎及び施設改善、主要駅周辺でのイベント開催など

- 方針Ⅲ 養老線交通圏における移動の充実

バス路線等の再編、デマンド型交通の充実など

- 方針Ⅳ 沿線の観光資源や多様な関係者との協働・共創

企業学校等との連携、支援団体等との協働など

大垣方面			大垣方面		
9	12	35	9	10	50
10	17		10	30	
11	7	52	11	10	50
12	42		12	30	
13	32		13	10	50

パターンダイヤ



駅周辺でのイベント開催



デマンドバス



高校生等によるワークショップ

※本計画（素案）に対するパブリックコメントを実施（令和8年6月26日～7月25日）

提出者数 21人（51件） 内桑名市分 5人（7件）

→本計画に反映

【現状と施策】

車両・鉄道施設の老朽化

- 現計画で老朽化した鉄道施設を施工するも、未だに多くの施設において老朽化対策が必要



現在運行中の車両



車両下部(電線管腐食)



木柱(劣化)



駅待合室(劣化)



駅ホーム屋根(劣化)



駅トイレ和式便器・洗面台(劣化)

次期計画で予定の施策

- 次期計画では、上記の老朽化対策と利便性向上施策を実施



交通系ICカードの改札機



駅ホーム屋根



コンクリート柱化

5. 整備スケジュール（予定）

鉄道事業再構築実施計画

